

「つながる!多文化ミニ運動会」を開催

この取組は、古賀市が外国籍市民向けに実施している交流型日本語教室のスタッフによるアイデアで始まりました。

「運動会」を通して、外国籍市民と一緒に日本の行事・文化に触れながら、楽しい時間を一緒に過ごすことで、お互いをより深く知るための交流の機会になることはもちろん、互いに協力しながら身体を動かすことで、コミュニケーションがより円滑になることも期待できます。

また、参加賞として、市内の協力企業様から自社製品を寄贈いただく予定です。市内の協力企業様から「交流型日本語教室」の応援・協力をいただき、また、外国籍の学習者さんには、市内企業の製品を知ってもらう機会にもつなげていきます。

■古賀市の外国籍市民の現状

平成27年から5年間で古賀市の外国籍市民は2倍に急増。新型コロナの影響で令和4年3月末は減少するも、令和4年5月の新規入国者緩和措置により再び増加に転じ、令和5年3月には1,000人を超えました。その後、就労を目的とする技能実習、特定技能などを中心に増加し、令和6年9月末現在約1,300人となり、人口の約2%を占めるまでになっています。

見た目の違いや、言葉、文化・風習などの違いにより、お互いの理解が深まらず、偏見や誤解などからトラブルがなくなるのが現状です。国籍に関わらず、誰もが安心して自分らしく暮らせるように、「同じ地域に共に暮らす一員」として、多文化共生を推進していく必要があります。

■多文化ミニ運動会が始まった経緯

多文化共生のまちづくりにとって「ことばの壁」は大きな課題です。自分の想いを伝えられないもどかしさや、必要な情報を得られない不安を感じることがあります。そうした状況において、自分の気持ちや意見を伝えるためのコミュニケーション支援はとても重要であり、外国籍の方々が地域住民と交流する機会を提供することが求められています。

このような中、交流型日本語教室のスタッフから、身体を動かしながら楽しくお互いに交流できる「運動会」の提案があり、令和4年から開催しています。

■今年度にかける思い

過去2年間は行政職員が企画した内容でした。今年度は、行政職員には頼らずスタッフのみでプロジェクトチームが発足しました。スタッフ間だけではなく、日本語教室に通う外国籍の方も参加するなど、国籍に関わらずだれとでも交流ができるよう、日本語教室のスタッフならではの一味違った「多文化ミニ運動会」の内容となっています。どなたでも参加できます。たくさんの方のご参加お待ちしております。

■イベント概要

- 日 時：令和6年10月20日（日）14時00分～15時30分
場 所：古賀市民体育館（古賀市中央2丁目13-1）
内 容：みんなが無理なく楽しめる種目をスタッフの皆さんが厳選
- ・障害物競走
 - ・大玉転がし
 - ・玉入れ
 - ・ソフトバレー



【問い合わせ先】

古賀市役所 まちづくり推進課 国際交流・多文化共生係
担当：八木・飯尾 電話：092-942-1165